

山行報告

1. 夏山合宿・檜枝岐川支流の3つの沢 (三岩沢・黒檜沢・保田橋沢)

1978年の夏山合宿は会津。三岩岳に発する三本の沢、三岩沢・黒檜沢・保田橋沢において実施した。天候にめぐまれ、3本とも完登。三岩沢は単調で裏切られた感が強かったが、黒檜沢・保田橋沢の2本はちょうど手ごろで、じっくりと登ることができた。以下パーティごとに報告する。

三岩沢 (1978年7月27日)

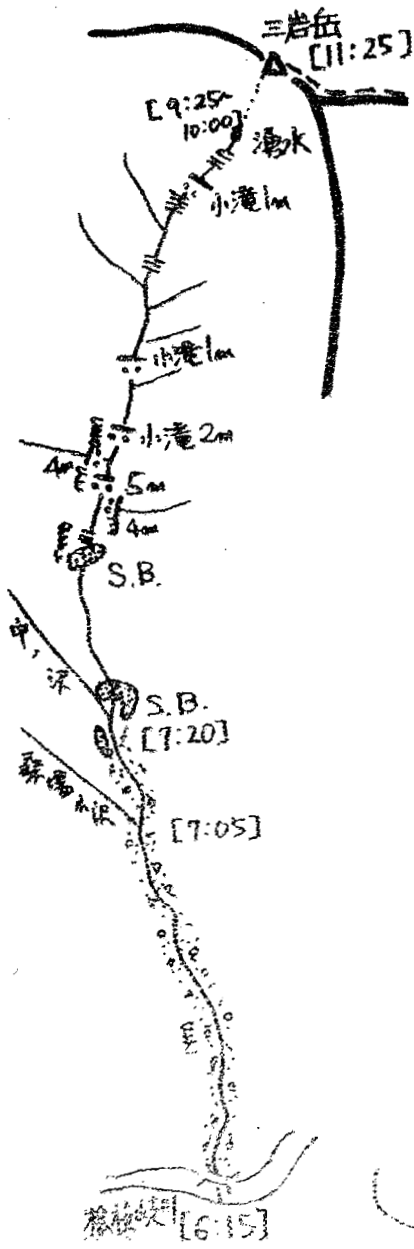
L 西和文・渡辺京子・矢戸幸務

AM 6:15 沢に入る。入口は道路工事のまっ最中であつた。ゴーロ状の沢を20分程進むと右岸に岩場があつた。7:05 二俣。左は飛場小沢である。右俣に入る。さらにゴーロ状の沢が続き、15分程で再び二俣。残雪がある。右俣に入る。すぐスノー岩がぬれている所はよくすべるので気をつかう。さらに40分程進むと又スノーブリッジで、下はナメになっている。このすぐ上、左岸から支流が滝になって流れ込んでいて、この滝の右側にはワサビがびっしり生えている。さらに進むとこの沢ではじめての滝に出会う。F1. 5m。滝の上にてると右岸から流れ込んでいる小流があつた。ナメ小滝や左岸から流れ込む小沢を見ながら進むと二俣になる。右に入る。AM 9:35 湧水。この上で沢筋は消えている。ここで昼食。三岩岳山頂まで1時間30分ほどヤブとき。山頂で1時間程過ごしたあと登山道を下る。

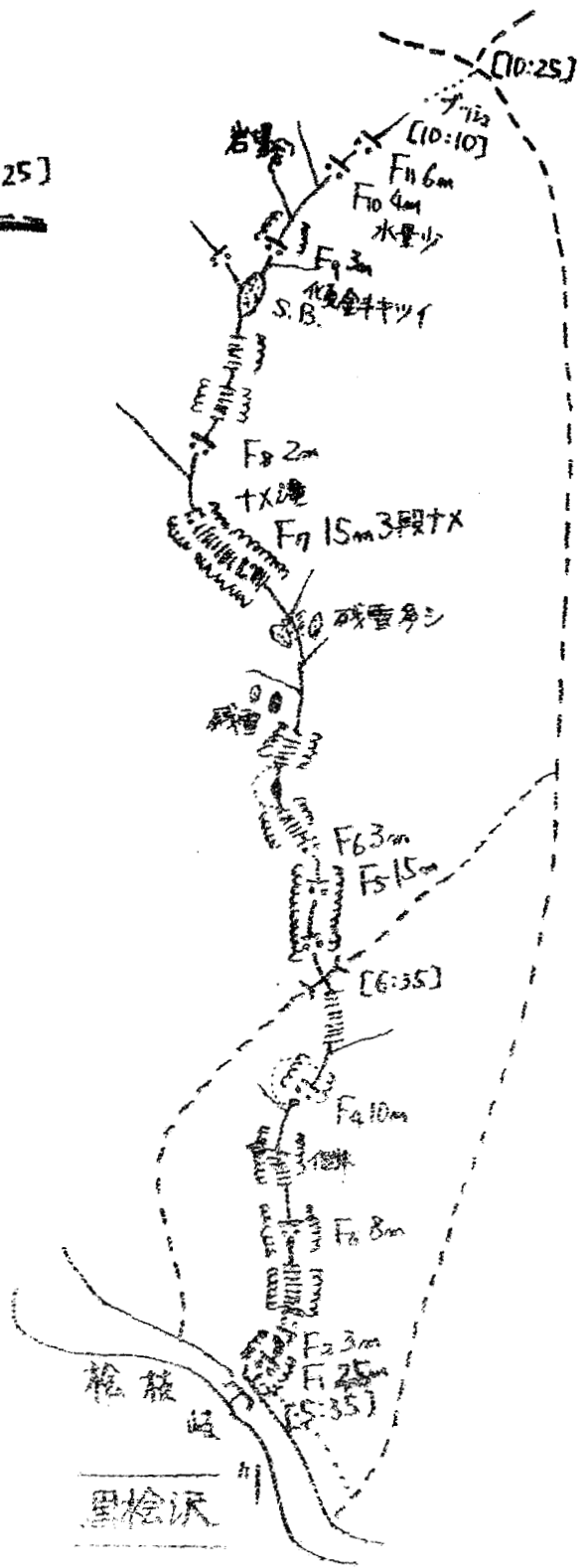
(記・矢戸幸務)

「タイム」

幕营地(5:50)——下大戸沢出合(6:00, 6:15)——三岩沢出合(7:20)
——沢終了(9:35, 10:00)——三岩岳(11:25, 12:30)——幕营地(14:50)



三岩沢



楢橋